

新型コロナウイルス感染患者発生に伴う島田市長メッセージ

秋の深まりとともに、空気も乾燥し、新型コロナウイルスの感染拡大が危惧される季節になりました。全国各地において、感染者が急増していることは、報道等で、皆さま、ご存じの通りです。

島田市でも、11月10日・11日と2日連続で7例目・8例目となる陽性者が確認されました。

まちなかにも、少しずつ人出や活気が戻りつつある今だからこそ、もう一度コロナ対策の原点に帰って、皆さまに注意を呼びかけたいと思います。

島田市で初めて陽性者が確認されたのは、7月17日でした。その後も散発的にみられたものの、このひと月半は、感染者ゼロの落ち着いた状態が続いていました。

島田市の感染者がこれまで一桁（ひとけた）にとどまっているということは、何よりも大切な命と暮らしを守ってきた市民の皆様の努力の証です。

私達は、ようやく戻りつつある日常生活や経済活動を、ここで逆戻りさせるわけにはいきません。これまで、島田市民の命を最前線で守ってきてくれた、医療・福祉関係者のご苦勞も決して無駄にはできません。コロナ禍によって、やむなく廃業することや、職を失い自らの未来を閉ざすようなことは絶対にあってはなりません。

改めて、コロナ対策の原点に立ち返り、誰もができる当たり前の感染防止行動を徹底していきましょう。「人にうつさない、人からうつされない、よそからウイルスを持ち込まない」これらに尽きます。

3密回避、マスクの着用、手洗い・消毒の励行、そして寒くなった今だからこそ、室内の換気と保湿を、家庭内・職場内・学校内・お出かけ先で、しっかりと実践してください。

もう一つ、皆さまへのお願いがあります。いくら用心していても、結果的にコロナに感染してしまうことは、誰にでも起こり得ます。コロナに罹ってしまった人に対して、偏見や差別意識を持つことは、絶対にやめましょう。

また、私達の命綱である医療機関や高齢者福祉施設内での感染予防の取

組に、これまで以上に支援・協力してまいりましょう。

島田市では、高齢者の重症化防止と施設でのクラスター発生防止の取組として、近隣自治体と連携し、PCR検査費用の助成について今検討を行っているところです。

島田市は、県内でも有数の地域力のあるまちです。市民一人ひとりの底力と地域コミュニティの絆が試される今だからこそ、心を一つにして、この難局を乗り越えてまいりましょう。

私（市役所の職員）も、市民の皆様とともに、感染拡大防止と社会・経済活動の両立に最善を尽くしてまいります。

令和2年11月12日

島田市長 染谷 絹代